

3Q-Wall工法研究会 会報

No.9 -2011.11

活動状況 報告

昨年 12 月の総会で承認されました事業計画に基づく活動状況の概要、等についてご報告致します。

■ 3Q-Wall 工法及び 3Q-Brace 工法の技術 PR

(1) 岡山県・岡山県建築士事務所協会「建築物耐震補強工法技術説明会」で技術説明を実施

平成 22 年 12 月 14 日 コンベックス岡山（国際会議場）で開催された 岡山県・(社)岡山県建築士事務所協会主催の「建築物耐震補強工法技術説明会（第 2 回）」において「3Q-Wall 工法」及び「3Q-Brace 工法」の技術説明を行ないました。当日は岡山県だけでなく広島県、島根県、山口県、愛媛県からの参加者を含め、135 名が熱心に聴講されました。

(2) 「リフォーム&リニューアル建築再生展 2011」において技術 PR を実施

6 月 1 日～3 日に東京ビックサイトで開催された「R&R 建築再生展 2011」で大林組の出展ブースにおいて「3Q-Wall 工法」および「3Q-Brace 工法」の模型展示とパンフレットの配布を行ないました。3 日間の来場者数は、45,106 名でした。



■ 「3Q-Brace 工法」の建築技術性能証明（審査機関：(財)日本建築総合試験所）を改訂

「3Q-Brace 工法」の施工の合理化を図るため、2009 年 7 月に(財)日本建築総合試験所で取得した「3Q-Brace 工法—分割鋼管で拘束した鉄筋内蔵モルタル充填の枠付きブレース耐震補強工法—」の建築技術性能証明の改訂を行いました。

主な改訂内容は以下の通りです。

- ① ブレース材に SD490 の鉄筋を使用することが可能
- ② あと施工アンカーを併用して枠材を固定する場合、枠材内部の鉄筋量を従来の 1/2 に低減することが可能
- ③ 充填モルタルグラウトの標準調合、管理値を最新のグラウト材に合わせるとともに、グラウトの名称を製品名から「無収縮グラウト」に統一



■ 3Q-Wall 工法及び 3Q-Brace 工法の技術講習会を開催

3Q-Wall 工法及び 3Q-Brace 工法の技術講習会を例年通り、東京と大阪の 2 会場で開催しました。今年は、特別会員である大林組が施工中の「東京スカイツリー」について、大林組 本社技術本部の田村副部長に「時をつくる ところで創る『東京スカイツリー建設の記録』」と題して特別講演をお願いしました。大阪会場では、研究会会員のほか、日本建築協会の方々をはじめ、大林組および関連会社の関係者など約 200 名の方が熱心に聴講されました。

東京会場 平成 22 年 9 月 20 日（火） 大林組品川本社 3 階講堂（18 名 受講）
 大阪会場 平成 22 年 10 月 21 日（金） 大阪大林ビル 8 階（31 名 受講）



東京会場：研修会風景



大阪会場：研修会風景

3Q-Wall の施工実績

「3Q-Wall 工法」は、2001 年 7 月に実用化されて以来、施工件数、施工面積とも増加しています。また、2010 年に実用化した「3Q-Brace 工法」も 2 年目となり、施工件数は、2 年で 7 件（施工面積 784.9m²）となっています。

3Q-Wall の施工件数と施工面積の推移

2011 年 9 月末現在

施工年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
施工件数（件）	3	7	14	24	25	19	25	30	23	21	26
施工面積（m ² ）	150	445	1,201	3,465	3,924	4,682	4,475	3,704	2,025	1,862	2,261
延べ件数（件）	3	10	24	48	73	92	117	147	164	191	218
延べ面積（m ² ）	150	595	1,796	5,262	9,186	13,869	18,342	22,046	24,071	25,933	28,878

3Q-Brace の施工件数と施工面積の推移

2011 年 11 月末現在

施工年	2010	2011	2012	2013	2014
施工件数	4	3			
施工面積(m ²)	641.3	143.6			
延べ件数	4	7			
延べ面積(m ²)	641.3	784.9			

新規入会 会員紹介

平成 22 年 12 月（総会）以降、以下の方々が新規に入会されました（敬称略）。

賛助会員：(株)大建設計、(株)岡本設計、(株)伸構造事務所、日建設計コンストラクション・マネジメント(株)、(株)神田建築設計事務所、(株)n-space 建築、INA 新建築研究所、(株)安井建築設計事務所

2011 年 11 月現在で、特別会員 1 社、正会員 34 社、賛助会員 58 社、計 93 社となりました。

編集後記

3 月 11 日にマグニチュード 9.0 という大地震『平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震』が発生し、15,839 名の尊い命が奪われ、今なお 3,641 名の方が行方不明となっています（平成 23 年 11 月 18 日現在）。今回の震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された多くの方々にも心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を願っております。

仙台市内には、3Q-Wall 工法で補強された建物（図書館）がありましたが、今回の地震で、書棚から書籍が散乱することもなく、被害も少なかったようです。

東日本大震災の教訓を受け、政府、地方自治体では早期に耐震対策を進めようとしています。特に、緊急時の避難拠点である学校や病院の耐震化は非常に重要かつ早急な課題であり、これらの建物の耐震補強に対して、建物を使いながら静かに、早く施工できる 3Q-Wall のメリットを積極的にアピールし、工法の普及を通じて、安心・安全な社会づくりに取り組んでいきたいと考えています。

当研究会へのご意見、ご要望などが有りましたら事務局までご連絡ください。

3Q-Wall 工法研究会 事務局：

〒163-1010 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー10 階

株式会社 内外テクノス 東京商事部内 金巻 良太郎

Tel.03-5325-5221 / Fax.03-5325-5780